

豊島消防少年団 震災を学び、考える



豊島消防少年団は、関東大震災の発生から100年を迎え、震災に対し学びを新たにするため、令和5年9月3日（日）に池袋防災館を訪れました。

防災館での訓練をとおして、初期消火の大切さ、煙の危険性、地震時の身の守り方を体験し、震災時に取るべき行動を学びました。さらに被災した女性の手記を基にした動画を視聴し、震災とはどういうものなのかを考えるきっかけとなりました。

団員からは「地震が起きる前から準備しておくことが大切だと分かった。震災があってもみんなで協力する。」との力強い言葉がありました。